会 議 録

令和 7 年 2 月 5 日

令和 6 年度第 3 回大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会

議 事 概 要

1. 開会・挨拶

【事務局】

定刻になりましたので、ただ今から大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会を開催させていただきます。本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございます。

本協議会の司会を務めさせていただきます、交通防犯対策課の上谷と申します。どうぞよろしく願いいたします。

本日の協議会におきましては、お手元の次第のとおり、「予算の流用」、「地域公共交通計画策定の中間報告（基礎資料）」、「コミュニティバスの運賃改定に向けた進捗状況及びデマンドタクシー実証運行案の詳細」の 3 点について、ご意見及びご承認をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

（配布資料確認）

なお、本日の会議を傍聴される方が 4 名おられますことを、ご報

告いたします。

それでは会議の開催にあたりまして、本会議の会長である上田市長よりご挨拶をお願いいたします。

【市長】

皆さん、おはようございます。そろそろ年度末ということで、大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。年明けから、いくつかの自治会、総会等でこれらの方向性についてお話をさせていただいた機会があったが、非常に関心が高いということは事実であります。今日は、この計画策定に向けた中間報告ということと、運賃改定に向けた進捗状況、デマンドタクシー実証運行案の詳細についてご指摘をいただくということになると思います。忌憚のないご意見をお出しいただきながら実証運行に向けて進んでいきたいと思いますので、よろしく願いします。本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。

【事務局】

当協議会設置要綱第 6 条第 1 項に基づき、上田市長、進行のほど、お願いいたします。

2. 議題

(1) 予算の流用について

事務局より資料 1 に沿って以下のとおり説明

- ・令和 6 年度予算について、新たな事務費の発生への対応として、規定に基づき、予算科目「会議費」から「事務費」に予算の流用を行った。

(質疑応答)

※質疑なし

【市長】

ただ今、事務局から議題について報告がありました。これについて質問等はございませんでしょうか。

ないようですので、議題 1 予算の流用について（報告）については承認することといたします。

(2) 地域公共交通計画策定の中間報告について

事務局より資料 2 に沿って以下のとおり説明

- ・策定を目指す地域公共交通の位置づけを踏まえ、本市の現状及び、それに伴って地域公共交通計画で向き合うべき課題を報告した。

(質疑応答)

【市長】

ただ今、地域公共交通計画策定についての説明がありました。これに関連したご意見等ございませんでしょうか。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

説明いただいた内容に沿って進めていただくとするが、国の方で動きがあり、日本版ライドシェアや公共ライドシェアというのを全国的に推し進めようというような動きになっています。この計画書の中には、そのような文言が入っていないので安堵しておりますが、今後、計画を策定されるにあたって、そういうものを視野に入れながら計画を作ろうというお考えがあるのでしょうか。また、もう1点、議題の中に、コミュニティバスの運賃改定に向けた進捗状況と書いてあるが、説明の中には運賃の話が出なかったように思います。バスの運賃をどのようにしようと考えているかをお教えいただきたいとします。

【市長】

運賃の話については、次の議題3のところでも中間報告するというところで予定をしております。先のライドシェアの動きに対して、どう対応するのかというのは、事務局いかがでしょうか。

【事務局】

ライドシェアですが、タクシー事業者にヒアリングしたところ、メ

リットがないとの回答でありました。ライドシェアというのは、タクシー業界が主体となってやるもので、本市として強引に進めることも考えておりません。また、日本版ライドシェアは、本市の場合、金曜日と土曜日の一部しか認められないことになるので、現在は時期尚早かと考えています。懸念されるのは、観光目的のものでしょうか。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

観光だけではなく、空白地の視点もあります。実際、宇陀市において県主導で始まっています。コミュニティバスやデマンド交通を導入されていますが、それは人を雇っていたり、ボランティアの人に頼んで運営されたりしているものになっています。ライドシェアについては、そういう人件費を抑えて、個人が持っている自家用車で運んでもらうというような形のものを考えながら国は推進しています。当協会としては、そういうものに頼らなくても、バス、電車、タクシーという公共交通で空白地を埋めていけるように努力すればいいという考えをもっておりますが、市の方でどのように考えておられるでしょうか。今おっしゃったように、日本版ライドシェアについては、今のところ考えていないということだが、県もライドシェアを色々と進めているので、そういう話も県の方から来るかもしれません。市として、今回の計画策定にあたって、そういうものを視野に入れずに、既存の公共交通、コミュニティバスも含めて対応していく計画を進めていく

んだということなのか、ライドシェアといったものも考えながら進めていくお考えかということを知っています。

【事務局】

公共版という空白地のライドシェアにつきましても、デマンドタクシーと比較させていただきました。本市としては、安全性という面からデマンドタクシーを選択させていただいたということです。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

ありがとうございます。

【市長】

最近いつも思うが、65歳以上を高齢者としてよいのか。この率が高くなっているのに、65歳以上の利用者に着目し言及することに違和感を覚えているところです。母数が増えているのに、そのまま連動して「多い」と扱うことになっています。この間、消防関係でもそういう話がありました。65歳の高齢者の火災の死亡率が高いというが、母数が大きいから、もう少しきめ細かく見た方がよいのではないかというのは、個人的に思っているところです。65歳だと、みんな運転免許も持っているかと思います。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

75歳まではだいたい、まだまだ手放したくないという状況だと思います。

【市長】

免許返納の動きがあるが、65歳以上に区切って、無理に進めて良いのかという気がします。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

これは、国が前期高齢者を65歳、後期高齢者75歳と定義している関係ですね。

【市長】

向き合うべき課題として、「交通弱者の移動を支える交通手段の確保」、「ニーズや需要に応じたサービスの再構築」、「持続的なサービスの提供に向けた体制の維持」の3つが挙げられました。再構築の視点では、サービスの廃止基準に関する考え方も含まれております。たしかに、これまでは増やすことばかりやってきたので、先ほどの説明のとおり、全く利用されていない場所もある現状も踏まえて、挙げられています。これら、特になければ、この方向で引き続き、事務局が中心になって、策定に向けた検討を進めてもらえればと思います。

(3)コミュニティバスの運賃改定に向けた進捗状況及び

デマンドタクシー実証運行案の詳細について

事務局より資料3に沿って以下のとおり説明

- ・地域公共交通サービスの持続性・一体性を鑑み、コミュニティ

バスの運賃改定とデマンドタクシー実証運行を同時に進めるものとする。

- ・コミュニティバスの運賃について、これまでの議論に基づき、令和8年4月より1乗車200円に見直す方針として、市民意見を募集しており、今後、運賃協議会等に諮っていく。
- ・デマンドタクシーの実証運行について、既存の地域公共交通の運営への影響を考慮した条件を設定し、令和7年10月からの開始を目指す。

【市長】

ただいま、コミュニティバスの運賃改定に向けた進捗状況及びデマンドタクシー実証運行案の詳細について説明がありましたが、これに関して、みなさまのご意見をお願いします。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

細かい点であるが、デマンドタクシーにおける会員対象者のところ、「※母子健康手帳を所持し、妊娠中又は出産予定日以降1年以内にある者」となっているが、この記述について、「妊娠中又は出産後1年以内」とした方がわかりやすいように思います。もう1点は「市民のうち、65歳以上の高齢者」となっているが、さきほどの議論にもあったように、高齢者の位置づけも含め、今後検証されたほうがよいと思います。利用状況など、年齢別に調査をしていただいたらよいと思います。

ます。

【事務局】

出産予定日との記述については、母子健康手帳に「出産予定日」と「出産後～」という両方の記載されている場所があり、出産予定日と書いておりました。今ご意見をいただき、「出産後」とします。ありがとうございます。また、65歳以上というのは、免許返納の高齢者の定義が65歳以上となっており、それに合わせて65歳以上にしています。

【郡山警察署】

(高齢者でなくとも、)いつでも免許返納はできるのですが、高齢者という定義を(免許返納に関わらず)65歳以上としているのかと思います。

【市長】

年齢の記述を外して「高齢者」と書いたらいけないでしょうか。

【事務局】

年齢においては、実証運行を通して、少し検討させていただきたいと思います。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

別に65歳を区切りにしてもよいと思うが、どれくらい乗るのかはわからないと思います。

【公益社団法人 奈良県バス協会】

ご利用の方が、乗降所の位置をはっきり認識できるよう、現場の表示は考えられているでしょうか。

【事務局】

A4もしくはB4程度でラミネート加工した案内を停留所周辺に掲示したいと思っています。そのあたりも、自治会の掲示板とか電柱などを候補に随時あたっていっているところです。概ね了解はいただいております。

【公益社団法人 奈良県バス協会】

利用される方が乗降所近くに来て、実際の乗降所がわからず、その場まで来られなかったらキャンセル扱いされることになるので、わかるようにしておいていただきたいと思います。

【近畿運輸局奈良運輸支局】

運賃体系をみると、小学生以下の方は会員じゃなくても乗れるということかと思えます。小学生以下の方が小学生だけで乗るということはありませんかと思うが、その小学生の保護者の方は65歳以上じゃなくても乗れるということになるのでしょうか。

【事務局】

小学生だけというのは、その会員になれないので、そもそも対象外になります。65歳以上の方と小学生以下の方が一緒に乗る場合でしたら、小学生だけ半額になるという趣旨です。

【市長】

わかりました。つまりおじいちゃんおばあちゃんと利用する時ということですね。

【事務局】

中心は高齢者ということですが、同乗する場合もあるだろうということに認めております。

【奈良県県土マネジメント部リニア・地域交通課】

電話予約ということだが、今後、実証から本格化になった時にアプリ予約であったり、電話予約に対しても紙で記録するのではなくて、入力フォームでの対応などはお考えでしょうか。そういうシステム化というところが、いろんな自治体でも出てきておりますが、いかがでしょうか。

【事務局】

システム化につきましては、利用ニーズによって、これからの検討課題と考えております。まずは実証運行でどれほどのニーズがあるのかをつかんだうえで、システム化を検討していきたいと考えております。

【市長】

自治会で話をしたときに、基本的なことですが、「デマンドとは？」という疑問を耳にします。我々は当たり前に使っているが、一番わか

りやすく、要するに「会員制の予約型乗合」と書いてほしいということかと思えます。定義が曖昧になっている部分がありますが、「予約」、「乗合」の2つがポイントであり、そこをきちんと住民に伝えるようにしなければいけないということであらためて思えます。

また、本市では、有償ボランティアの方々によって運行している地域があります。その方々が、自分たちの運行の邪魔にならないかということが心配をされています。公共によるサービスだけではなくて、そういうボランティアの動きも含めた相互作用があると思うので、検証した方が良いかと思えます。

乗降場所の設置には、土地所有者やあるいは地元の同意、また、道路上においては警察への事前承認とか、あるいはさらに運行委託が可能かどうか、その実現性のために事業者と意見を重ね、ようやく今回の概要案ができたということでございます。現時点での案について、皆さんいかがでしょうか。この概要で、安全実証、運行してみて、必要があれば市民の皆さまの関心の高い運賃をはじめ、運行概要案の修正をしていくということで承認いただくということによろしいでしょうか。

ないようであれば、この方針で進めることとして、コミュニティバスの運賃改定とデマンドの実証方法について、実施まで半年ほどまだありますので、先ほどのデマンドの意味も含めて、丁寧な市民への周知

をお願いしたいと思います。

3. その他

- ・ 次回協議会を3月28日（金）の10時からとする。

4. 閉会

【事務局】

本日は、コミュニティバスの運賃改定にご理解いただき、また、デマンドタクシー実証運行案の詳細について、承認いただきありがとうございます。後者につきましては、特に、土地所有者の同意と、地元への説明に、これまで時間を要してきたところでございます。今後は、令和7年10月からのスタートを目指し、また、地域公共交通計画につきましても、次年度の策定を目指し、引き続き、進めて参ります。

それでは、本日の議事録は市のホームページに掲載させていただきます。

以上をもちまして、大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。